

2024 年 1 月

BEAS-2B ご利用者様 各位

株式会社ケー・イー・シー  
試薬事業部  
〒661-0978 兵庫県尼崎市久々知西町 2 丁目 1-20  
(お問合せ先)  
TEL: 06-6435-9747 FAX: 06-6435-9748  
URL: <https://www.saibou.jp/>  
E-mail: shiyaku-info@kacnet.co.jp

## BEAS-2B の継代時におけるお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこの度は、弊社取り扱いの細胞製品(細胞名: BEAS-2B)をご利用いただきましてありがとうございます。本細胞を継代いただく際に、ECACC データシートの記載内容のまま操作されますと、細胞にダメージを与える恐れがありますので、以下に記した操作をお願いいたします。

今後とも、弊社製品にご愛顧いただきますよう、よろしくをお願いいたします。

敬具

記

カタログ番号: EC95102433-G0、細胞名: BEAS-2B の継代時におけるお願い

### <実施していただきたい操作>

0.05%トリプシンにて、室温、顕鏡下で観察し、細胞が剥がれ始めましたら、トリプシンインヒビター(例:大豆由来トリプシンインヒビター)でトリプシンを不活化してください。

(2023 年末より、推奨トリプシン濃度が 0.25%から、0.05%に変更されております)

### <注意事項>

時間では管理しませんが、細胞が剥がれ始める目安としては 1 分前後です。

推奨培地である BEGM 培地には血清を含んでおりませんので、トリプシンを不活化することはできません。また、FBS 入り培地でトリプシンを不活化すると、FBS 中の成分などが細胞の分化などを促進する場合がありますので避けてください。

以下の操作は推奨できません。(ECACC にも確認済みでございます)

### <ECACC データシートの記載内容(抜粋)>

<https://www.culturecollections.org.uk/nop/product/beas-2b>

Subculture Routine:

Check cultures daily and passage sub-confluent cultures (maximum 70% confluence) using 0.05% trypsin or trypsin/EDTA. Incubate at room temperature for 5-10 min until cells detach. Add fresh medium and disperse cells, centrifuge and resuspend pellet in medium.

(要旨: 0.05%トリプシンにて、細胞が剥がれるまで室温で 5-10 分間インキュベートし、新鮮な培地を加えて細胞を分散させる。)

以上